

就任あいさつ

光り輝く「教育立県ちば」の実現を目指して ～子供たちの「強く美しく元気な心」の育成～

千葉県教育委員会教育長 さわかわ 澤川 かずひろ 和宏



1 はじめに

本年4月に内藤敏也前教育長の後を受け、千葉県教育委員会教育長に就任しました。皆様の御協力をいただきながら、着実に教育行政を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

2 社会状況の変化と教育の重要性

現在、我が国は、少子高齢化、グローバル化、急速な技術革新への対応など、教育を巡る環境の変化の中で、多くの教育課題が生じており、学力向上、道徳教育の充実、いじめの防止、教員の資質向上など、重点的に取り組むべき課題も山積しています。また、新しい学習指導要領への円滑な移行や教職員の業務改善への取組についても早急な対応が求められているところです。このような重要な局面で、教育長という重責を担うことになりましたが、教育委員と共に、教育委員会のより一層の活性化を図りながら、緊張感を持って教育行政に取り組んでまいります。

3 千葉県の特長を踏まえた取組の必要性

千葉県は、首都圏に位置し、様々な産業と多くの人材が集積しながら、豊かな自然と温暖な環境に恵まれるなど大きなポテンシャルを有しています。こうした千葉県の特長を生かし、子供たちに社会を生き抜く力を養成するためには、教育条件の整備と教育内容の充実に努めることが必要です。そのためには、具体的かつ体系的な施策推進が不可欠であり、第2期千葉県教育振興

基本計画を着実に推進し、光り輝く「教育立県ちば」の実現に向け、質の高い教育を確立できるよう、力を尽くしていきたいと考えています。

4 今年度の取組

今年度は、計画期間（平成27～31年）の4年目であり、これまでの実績を踏まえ、より一層実効性を高め、子供たちの「知・徳・体」の全面的なレベルアップを図る取組を着実に推進していかなければなりません。

また、新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」の理念が示され、子供たちが未来の創り手となるために、必要な資質・能力を一層確実に育成していくことが求められています。一方で、学校における働き方改革の実現に向けた環境整備を進める必要もあります。

こうした動向も踏まえ、千葉県教育委員会として着実に施策を推進するとともに、教育委員会と知事が重点的に構すべき施策を協議する総合教育会議等を通じて、知事部局を含めたオール県庁で連携しながら、より一層の施策の充実に取り組んでいるところです。

なお、昨年度の総合教育会議では不登校支援対策を主なテーマとして協議が行われ、今年度から「不登校対策支援チーム」が設置されるなど、取組の充実が図られているところです。

次に、今年度の取組の一端を紹介させていただきます。

○新学習指導要領への対応について

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、小学校の外国語活動・外国語科や、新たに教科化された道徳科への対応等、各学校が円滑かつ確実に新学習指導要領に移行できるよう、説明会・研修会や小学校教員の英語の指導力向上に向けた取組等、計画的な準備を進めています。

○教員等の働き方改革について

労働時間の短縮をより一層推進するため、3月に改定した「教育職員の総労働時間の短縮に関する指針」を踏まえ、9月を目途に具体的な数値目標を含めた「行動計画」を策定する予定です。加えて、6月に「安全で充実した運動部活動のためのガイドライン」を改訂しました。部活動の在り方を見直す契機とし、生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育むことができるようにするとともに、教員の負担軽減にもつながるよう努めています。

○特別支援教育の推進について

昨年10月に策定した「第2次千葉県特別支援教育推進基本計画」、「第2次県立特別支援学校整備計画」を両輪とし、障害のある子供が、地域社会の中で主体的に活動し、その一員として豊かに生きることができるよう、特別支援教育の更なる推進を図ります。

○学校等における子どもの安全確保対策の強化について

「千葉県自転車安全で適正な利用の促進に関する条例」、「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」の趣旨を踏まえ、自転車交通安全教育の推進及び啓発、心肺蘇生法及びAED指導に関する実習の実施等、より一層の安全確保対策の強化を図ります。

○いじめ防止・不登校対策の推進について

昨年11月「千葉県いじめ防止基本方針」を改定しました。各学校が国及び県基本方針の内容を参酌して、学校いじめ防止基本方針を見直し、より実効的ないじめ防止等の対策を図ります。不登校対策については、福祉・心理・教育の専門家からなる「不登校対策支援チーム」、不登校支援に向けた内容を網羅的にまとめた「千葉県版不登校対策指導資料集」を活用し、不登校の未然防止・初期対応・自立支援に向けた取組の充実を図ります。

○オリンピック・パラリンピックを活用した教育の推進について

今年度、推進指定校を65校に拡大し、例えば、地元のクラブチームの協力を得てシッティングバレーボールを体験するなど、特徴のある活動を予定しています。2020年までに県下全ての公立学校に実践を広げたいと考えています。

○新県立図書館の整備について

1月に「千葉県立図書館基本構想」を策定しました。県立図書館機能の向上を図るため、現在の3館体制を1館に機能集約し、老朽化の進んだ中央図書館に替えて、知識基盤社会における「知の拠点」となる新たな県立図書館を整備することとしています。今年度は基本計画を策定する予定です。

○「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」について

平成32年度からの第3期千葉県教育振興基本計画の策定に向け、懇話会を5月に設置しました。有識者の方々から今後の本県教育の在り方について御意見を伺いながら、来年度中に計画を策定する予定です。